

事務事業の概要・計画 (PLAN)

事業活動の内容・成果 (D0)

事業費及び財源内訳（千円）							事業活動の実績（活動指標）						
項目		前年度決算	当初予算額	補正予算額	継続費その他	翌年度繰越	決算額	項目	単位	前年度実績	2年度予定	9月末の実績	2年度実績
財源内訳	直接事業費	53,708	80,014	0	0	20,800	62,119	委託料	千円	5018	22396	3931	9337
	国庫支出金	206	5,150	0	0	5,150	5,150						
	県支出金	0	0	0	0	0	0						
	地方債	18,500	9,000	0	0	0	9,000	工事費	千円	35525	56400	7521	51726
	その他	2,206	2,002	0	0	0	3,856						
	一般財源	32,796	63,862	0	0	15,650	44,113						
職員の人工（にんく）数		2.50	3.00				3.00	原材料	千円	205	230	159	212
1人当たりの人件費単価		7,992	7,812				7,812						
※ 直接事業費＋人件費		73,688	103,450				85,555						
主な実施主体		伊予市		実施形態（補助金・指定管理料・委託料等の記載欄）		請負		その他	千円	325	988	71	344
向こう5年間の直接事業費の推移（千円）						3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	5年間の合計		
						80,014	80,014	80,014	80,014	80,014	400,070		
成果指標	指標	成果を指標化するのは困難である。				単位	⇒	区分年度	前年度	2年度	3年度	目標	毎年度
								目標	51	97			
	指標設定の考え方	請負工事件数を実績とする。						実績	51	97			
	指標で表せない効果	経費節減を図ると安全性に問題が生じる。											

事務事業評価（CHECK）

新たな課題や当初の改善策に対する対応状況 （今年度の途中経過）			パトロールや現地確認の際に直営でできることは対応を している。 （倒木の伐採や落石の撤去等）						
事業 									

施 策 を 踏 ま え た 判 断	二 次 判 定	☐	一次判定結果は以下の点について良好と評価し、更なる事業推進を求める。	⇒	指摘事項を踏まえ、事務改善、事業推進に努め、今年度の事務事業評価シートに反映させること。
		☐	一次判定結果のとおり事業継続と判断する。		
		☒	一次判定結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。 路面の陥没や破損は、重大事故を招く恐れがありパトロールや利用者からの通報による速やかな情報収集を図り、適切な対応を講じる体制を整えなければならない。		
		☐	一次判定は以下の点について外部評価が必要と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。		
		☐	一次判定結果のとおり事業縮小と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。		
		☐	一次判定結果のとおり事業廃止と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。		
☐	既に事業廃止が決定していることから、廃止に向けた手続を行う。				

行政評価委員会の答申	外部評価	答申の内容
------------	------	----------------------

今後の方向性（ACTION）

の 経 営 最 終 者 判 断 議	事業の方向性	コメント欄	
	☐	さらに重点化する。	
	☐	現状のまま継続する。	
	☒	見直しの上、継続する。	
	☐	事業の縮小を検討する。 事業を縮小する。	
	☐	事業の休止、廃止を検討する。 事業を休止、廃止する。	